



開発コンサルタントはSDGsの達成に貢献しています

明治大学政経学部
国際社会における
キャリア入門講座

開発コンサルタントへの道

2022年11月24日



INTEM

インテムコンサルティング株式会社
代表取締役社長
土居正典

自己紹介

土居正典(どいまさのり)

インテムコンサルティング(株)代表取締役社長

1957年3月、高知県生まれ

東京水産大学(現東京海洋大学)水産学部卒、水産学博士・技術士(水産部門)、一般社団法人マリノフォーラム21理事

著書に「私はお魚系開発コンサルタント」(WAVE出版 2018年)、「お魚系開発コンサルタントの世界魚食紀行」(湊文社 2020年)がある。



母校の有名人

土佐高校

中谷元(元防衛大臣)、山本有二(元農水大臣)、村木厚子(厚労省)、門田隆将(ジャーナリスト)、倉橋由美子(作家)、公文公(公文式)、北村総一郎(俳優)、黒鉄ヒロシ(漫画家)

東京海洋大学

鈴木善幸(元総理)、小野寺五典(元防衛大臣)、水産系企業人多数

ODA業界では、米坂浩昭(アイシーネット創立者)、島田宗宏(OAFIC(株)社長)、渡邊英直(マリノフォーラム21会長)



この業界に入った動機

私がこの業界に入った動機は、開発途上国の発展に貢献したいなどという優等生的な考えではけっしてなかった。

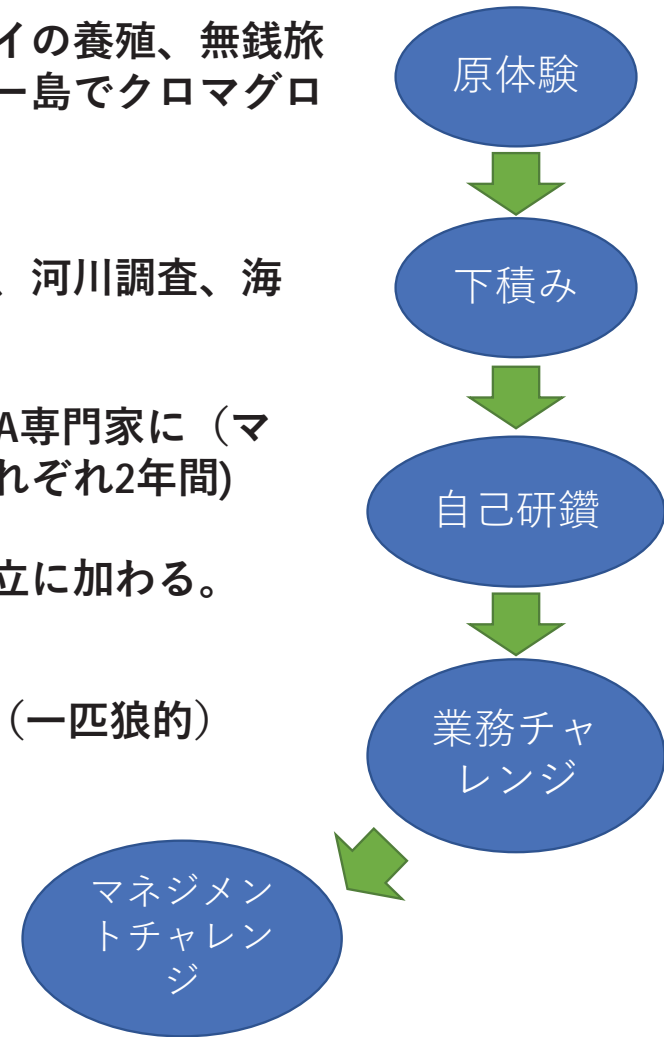
いや、少しはあったが、自分の専門性を最大限に生かすことで最大のリターンが得られる場として選択した結果だった。

(「私はお魚系開発コンサルタント」P.15)



キャリアパス

学生時代	游学（スコットランドでホタテガイの養殖、無銭旅行）、大学院ではイタリアシシリー島でクロマグロの人工授精にチャレンジ
25歳（1982年）	コンサルタント会社に就職 （国内の交通計画、土地利用計画、河川調査、海外調査補助員）
32歳（1989年）	コンサルタント会社を退職し、JICA専門家に（マレーシア、タイ、フィリピン、それぞれ2年間）この間、技術士、博士を取得 インテムコンサルティング(株)の設立に加わる。
40歳（1997年）	開発コンサルタントとして再出発（一匹狼的）
52歳（2009年）	初めてのプロマネ
55歳（2012年）	代表取締役役に就任



海外業務のイメージ

■ : アフリカ
 ■ : アジア
 ■ : 中南米
 ■ : 大洋州
 ■ : その他

年齢	年	所属	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
26	1983年	SSC1												
27	1984年	SSC2												
28	1985年	SSC3												
29	1986年	SSC4												
30	1987年	SSC5												
31	1988年	SSC6												
32	1989年	SSC7												
33	1990年	SSC8												
34	1991年	SSC9												
35	1992年	フリー												
36	1993年	フリー												
37	1994年	INTEM0												
38	1995年	INTEM1												
39	1996年	INTEM2												
40	1997年	INTEM3												
41	1998年	INTEM4												
42	1999年	INTEM5												
43	2000年	INTEM6												
44	2001年	INTEM7												
45	2002年	INTEM8												
46	2003年	INTEM9												
47	2004年	INTEM10												
48	2005年	INTEM11												
49	2006年	INTEM12												
50	2007年	INTEM13												
51	2008年	INTEM14												
52	2009年	INTEM15												
53	2010年	INTEM16												

アジア

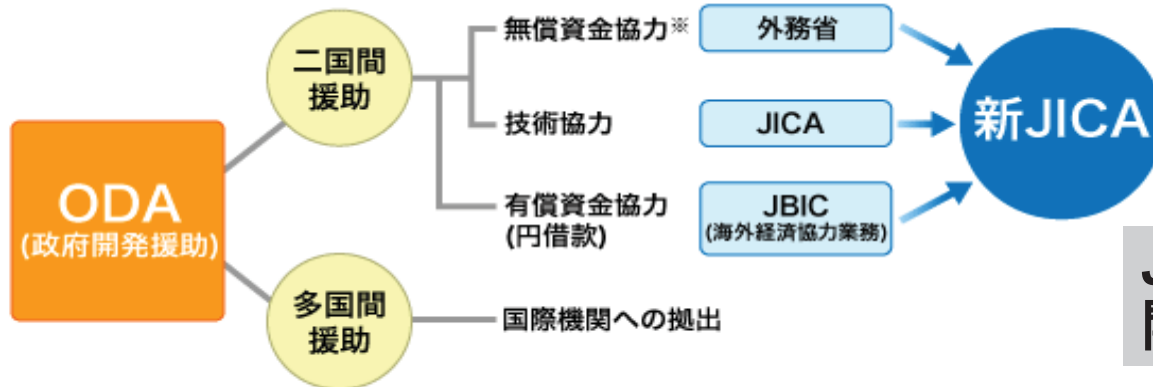
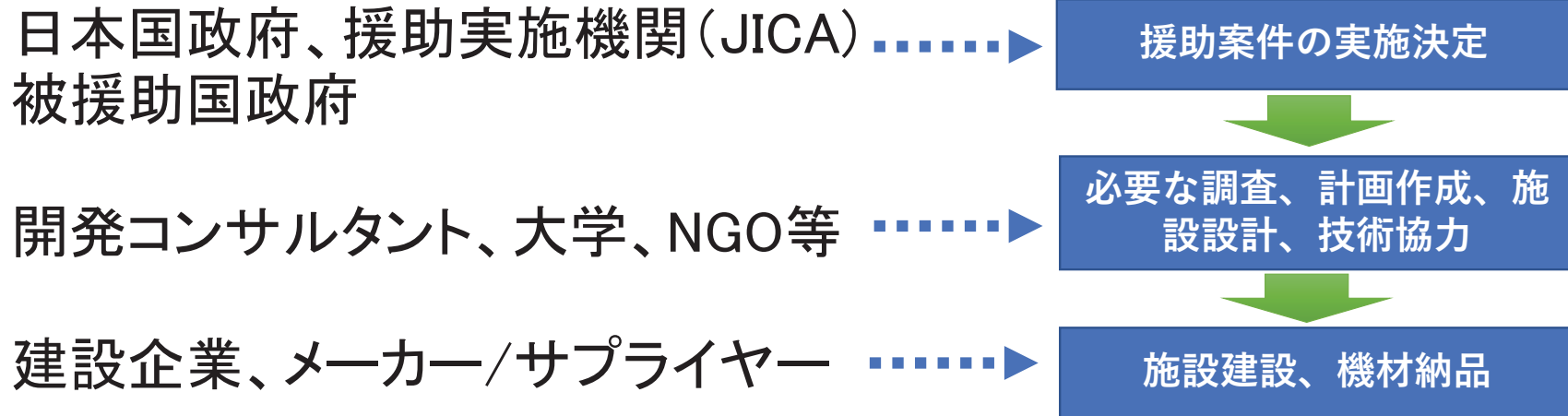
アジア+中南米

アジア+アフリカ

本日の話

0. ODA業界のステークホルダー
1. 開発コンサルタントとは何か？
2. 開発コンサルタントに求められる能力
3. 受注競争の実態
4. インテムコンサルティング(株)の概要
5. プロジェクト例1: アフリカの淡水魚養殖
6. プロジェクト例2: モルディブの水産マスタープラン
7. 開発コンサルタントになるには、、
8. まとめ

0. ODA業界のステークホルダー



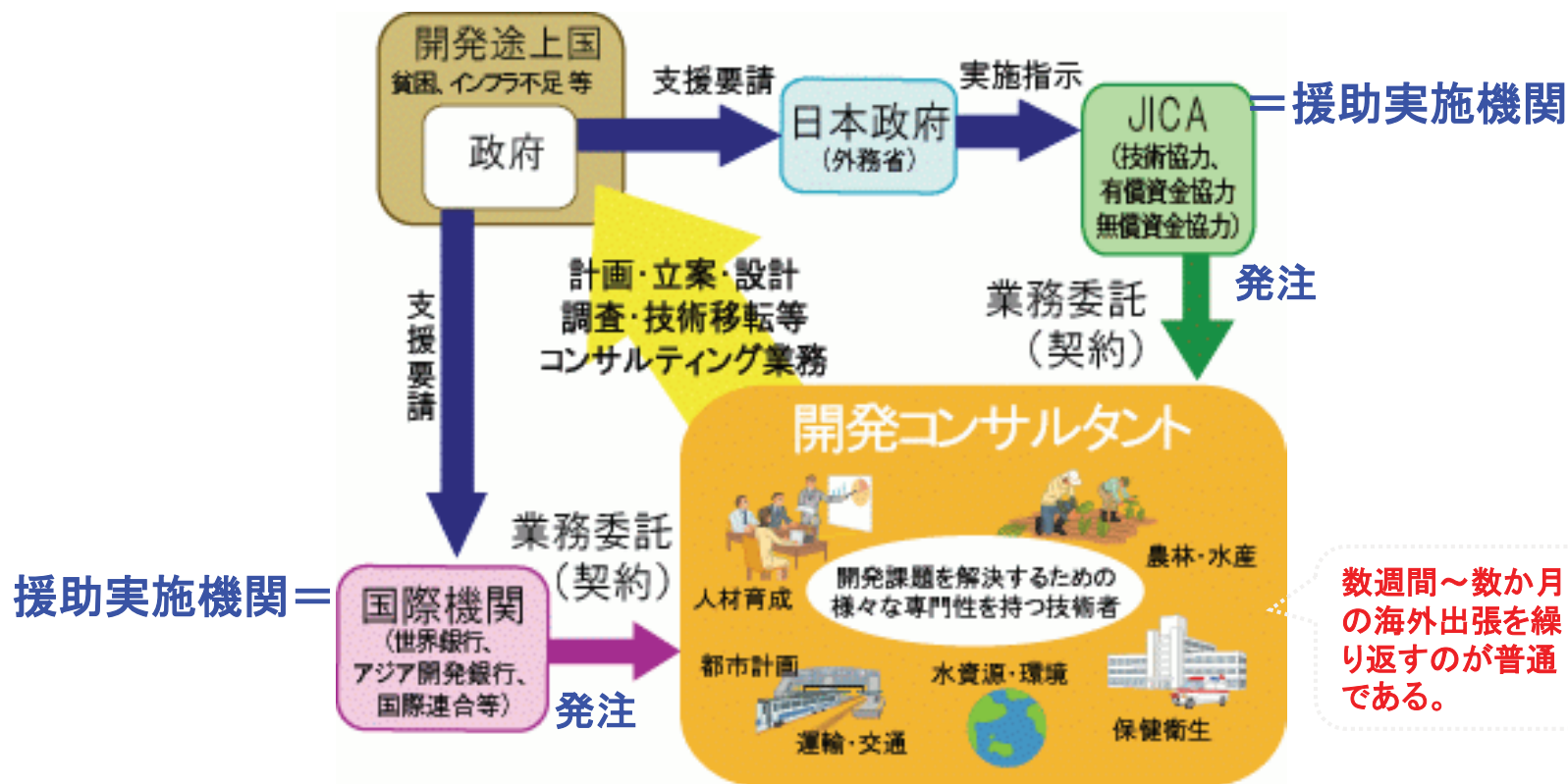
JICA = 日本の援助実施機関 = 開発コンサルタントのクライアント

※外交政策の遂行上の必要から外務省が引き続き自ら実施するものを除く。

出所： JICA HP

1. 開発コンサルタントとは何か？

開発コンサルタントとは**開発途上国**で計画立案・設計、技術移転等の**サービスを提供**する企業あるいは人である。開発コンサルタントは**援助実施機関**が発注するプロジェクトを**競争を経て受注・契約**し業務をおこないます。



NGOとどこが違うの？ 一見同じことをやっているが、、、

NGOはミッション(「組織の使命」と考えるもの)のあくなき追求。開発コンサルタントはプロとして実務を遂行。

開発プロジェクトの資金源			
スポンサー	資金的に支援してくれる人(協賛金、助成金)	〇〇基金、財団、メーカーなど	資金を提供することにより、目的を達する
クライアント	資金を提供して仕事を依頼する人(業務委託)	JICA、世銀、FAO等々	

NGOはスポンサーを探して自分の考えるゴールをめざす。良きにつけ悪きにつけ、自己中心で物事を決める。

コンサルはビジネスとしてクライアントと契約し、契約事項を全うすることに全力を尽くす。逆に言うとそれ以上はやらない、あるいはやれないのが原則。

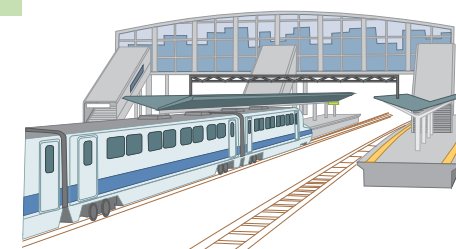
開発コンサルタントが活躍する分野

エンジニアリング系コンサルティング分野

- 上水道、下水道
- 道路、陸運、鉄道、港湾、航空・空港
- 気象・地震、河川・砂防、水資源開発
- 建築住宅、測量・地図、通信・放送
- 農業土木、林業・森林保全、水産、水産加工
- 電力、ガス・石油、再生エネルギー

ハード系

ものづくり



非エンジニアリング系コンサルティング分野

ソフト系

ひとづくり



- 地域・社会開発、財政・金融、財務・経済分析
- 環境問題、観光施設
- 基礎教育、高等教育、職業訓練
- 科学、文化
- 保健・医療、基礎保健、人口・家族計画
- 社会福祉、労働、災害援助、食料援助

業界団体：海外コンサルティング企業協会(ECFA)

ECFAとは？ (Engineering and Consulting Firms Association)

(法人正会員 80社)

アイ・シー・ネット(株)
 (株)Ides
 アイテック(株)
 (株)アジア共同設計コンサルタント
 アジア航測(株)
 (株)アルメックVPI
 (株)アンジェロセック
 いであ(株)
 インテムコンサルティング(株)
 (株)エイト日本技術開発
 (株)エックス都市研究所
 (株)NHKテクノロジーズ
 (株)NJS
 NTCインターナショナル(株)
 オーピーシー(株)
 OYOインターナショナル(株)
 (株)オリエンタルコンサルタンツ
 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル
 カーボンフリーコンサルティング(株)
 海外貨物検査(株)
 (株)かいはつマネジメントコンサルティング
 (株)片平エンジニアリング
 基礎地盤コンサルタンツ(株)
 (株)協和コンサルタンツ
 (株)建設技研インターナショナル
 (株)建設技術研究所

(株)コーエイリサーチ&コンサルティング
 国際航業(株)
 国土防災技術(株)
 (株)三祐コンサルタンツ
 (株)シー・ディー・シーインターナショナル
 (株)ジャイロス
 セントラルコンサルタント(株)
 大日コンサルタント(株)
 大日本コンサルタント(株)
 太平洋エンジニアリング(株)
 玉野総合コンサルタント(株)
 (株)地球システム科学
 中央開発(株)
 (株)長大
 (株)TECインターナショナル
 (株)TnGE
 デロイトトーマツコンサルティング(合)
 デロイトトーマツFA(合)
 電気技術開発(株)
 電源開発(株)
 (株)東京設計事務所
 東電設計(株)
 (株)トニーチコンサルタント
 有限責任監査法人トーマツ
 西日本技術開発(株)
 (株)日水コン
 日本工営(株)

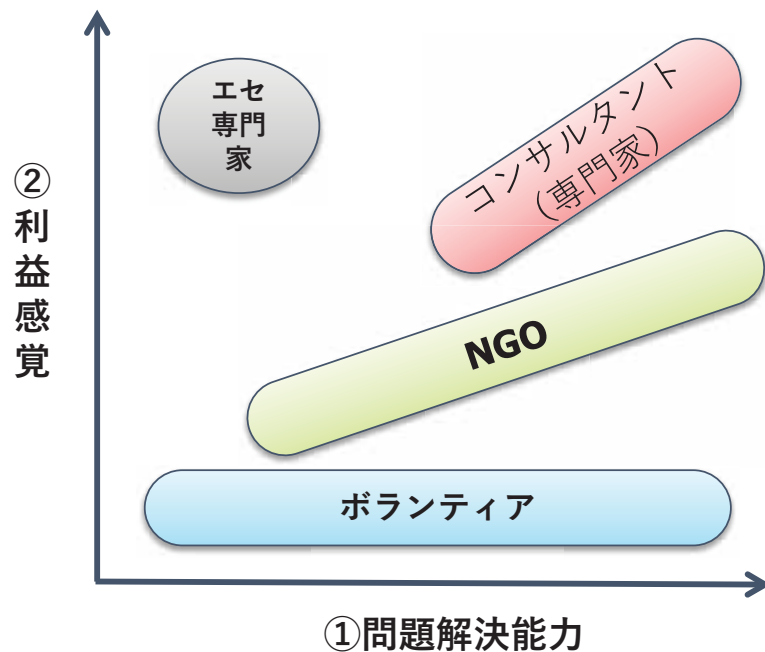
日本シビックコンサルタント(株)
 (株)日本開発サービス
 (株)日本開発政策研究所
 (株)日本空港コンサルタンツ
 (株)日本構造橋梁研究所
 (株)日本港湾コンサルタント
 日本コンサルタンツ(株)
 日本水工設計(株)
 日本テクノ(株)
 (株)ニュージェック
 パシフィックコンサルタンツ(株)
 (株)パスコ
 (株)パセット
 (株)パデコ
 (株)PSD
 (株)VSOC
 復建調査設計(株)
 ペガサスエンジニアリング(株)
 (株)ポリテック・エイディディ
 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
 (株)森村設計
 八千代エンジニアリング(株)
 (株)URリンケージ
 ユニコインターナショナル(株)
 リロパナソニックエクセルインターナショナル(株)
 (株)レックス・インターナショナル
 (株)ワールド・ビジネス・アソシエイツ

(賛助会員 12法人)

(一財)NHKインターナショナル
 (一財)海外通信・放送コンサルティング協力
 KDDI(株)
 (公財)KDDI財団
 清水建設(株)
 (株)神鋼環境ソリューション 東京支社
 中国電力(株)
 (一財)日本国際協力センター
 (一財)日本気象協会
 (株)日立製作所
 メタウォーター(株)
 ヨシモトポール(株)

2. 開発コンサルタントに求められる能力

- ① 専門性、技術力、資格、語学能力、提案力、現場力、コミュニケーション能力----etc. 要するに、総合的な**問題解決能力**。
- ② ビジネスとしての**利益感覚**、つまり時間価値を意識する。



できる人の能力はコンサルでも
NGOでもボランティアでも大差ない。

開発コンサルタントは「日本の外交戦略
における傭兵部隊」という側面を持つ。



情熱がなければやっていけない、儲
けがなければやっている意味がない。

(「私はお魚系開発コンサルタント」P.178-179)

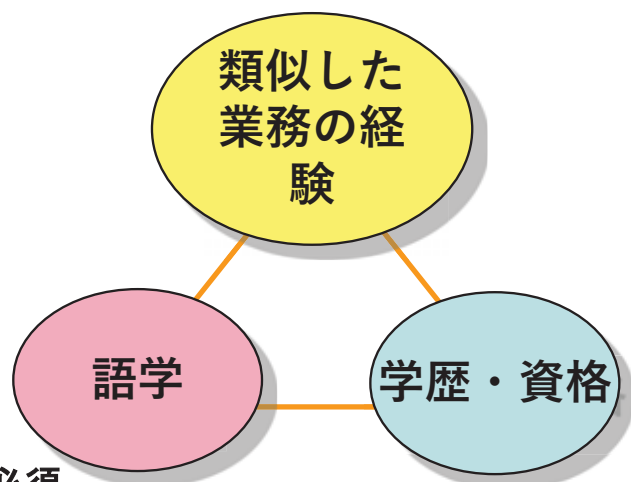
業務を受注するためには、、、

JICAにおける競争入札プロポーザルの配点	
① 組織としての経験能力	10点
② 業務の実施方針	30-40点
③ 業務従事者の経験能力	50-60点



案件による評価点
 ➤ 若手育成加点
 ➤ 価格評価点

業務従事者の経験能力とは？



英語は必須、
できれば+α
で第二外国語

修士・博士、技術士等

英語の資格の基準（業務実施型コンサルタント）

		TOEIC	英検	TOEFL
S	Non-Native として十分なコミュニケーションができる。	860点以上	1級	600点以上
A	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている	730点以上	準1級	550点以上
B	日常のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションが可能。	470点以上	2級	450点以上

3. 受注競争の実態

評価結果

業務名称：ウズベキスタン国ヌクス教育病院医療サービス改善計画準備調査(QCBS)

調達管理番号：19a01153

競争参加者名	技術評価 (100点)			若手育成 加点	合計	技術評価点 (90点)	見積額 (税込み)	価格評価 (100点)	価格評価点 (10点)	総合評価点	順位
	第1章 (10点)	第2章 (40点)	第3章 (50点)								
	7.9	22.7	43.6		74.2	66.78	31,249,900円	96.07	9.61	76.39	3位
	7.8	22.0	45.5	2.00	77.4	69.66	30,988,100円	95.43	9.54	79.20	2位
インテムコンサルティング株式会社	7.8	24.0	46.8		78.6	70.74	31,996,800円	97.89	9.79	80.53	1位

※技術評価点の合計は各選定委員の合計（100点満点）の平均点（小数点第2位以下、四捨五入）に若手育成加点を加算して表示しています。「第1章：コンサルタント等の法人としての経験・能力、第2章：業務の実施方針、第3章：業務従事予定者の経験能力」ごとの評価点は競争参加者への参考情報として、各選定委員の評価の単純平均（小数点第2位以下、四捨五入）を提示していますので、表中の技術評価（100点）の第1章、第2章、第3章を足し合わせたものが、必ずしも技術評価点の合計と異なる場合があります。

第1章組織としての経験能力は互角、第2章業務の実施方針及び第3章業務従事者の経験能力ではインテムが勝る。しかし、若手を業務管理グループに入れて、加点ポイントを得た社もあり、技術評価点が僅差となっています。この案件は価格評価もおこなうということで、その得点も加味したうえで、総合評価点がつけられ、結局弊社が受注することに成功した、ということになります。

評価結果の例

案件名	応募企業(体)	評価点							点数差	勝敗	備考
		①法人の 経験・能力	②業務実 施方針	③従事者 の 経験・能力	評価点小 計	若手加点	価格点	合計			
全世界基礎研究「保守契約 の活用レビューと機材維持 管理の対応策について」		7.79	29.70	37.52	75.01	2.00	2.5	79.51	(0.02)	失注	若手加点と価格差で逆転負け
	インテム	7.85	33.07	36.82	77.74	-	1.75	79.49			
エリトリア国沿岸漁業開発 戦略策定プロジェクト	インテム/ []	8.05	31.67	39.67	79.39	-	1.25	80.65	0.21	受注	価格で追い上げられたが、 逆転を許さず
	[]	8.05	30.75	39.15	77.95	-	2.50	80.44			
	[]	7.88	31.60	37.71	77.19	-	-	77.19			
	[]	7.79	30.15	38.64	76.58	-	-	76.58			
アルバニア国ディヴィア カ・カラヴァスタ国立公園 における生態系に基づく管 理に係る能力開発プロジェ クト	[]	7.89	33.36	39.99	81.24	-	-	81.24	(4.27)	失注	全ての評価項目で力及ばず 完敗。
	[]	7.99	30.62	39.84	78.45	-	-	78.45			
	[]	7.77	30.61	38.75	77.13	-	-	77.13			
	インテム/ []	7.82	30.68	38.47	76.97	-	-	76.97			
タンザニア国産業人材育成 にかかる情報収集・確認調 査	インテム/ []	8.27	31.37	39.70	79.34	2.00	-	81.34	6.00	受注	全ての評価項目で引き離し 圧勝。
	[]	7.56	29.05	36.73	73.34	2.00	-	75.34			
	[]	6.77	28.00	38.42	73.19	-	-	73.19			

4. インテムコンサルティング(株)

INTEM

当社の特徴

- 独立系の開発コンサルタントである（大企業の系列ではない）。
- 同族経営ではない。
- 技術協力（ソフト系）と無償資金協力（ハード系）という二つの顔を持っている。
- 経営方針は極めてフレキシブルであり、国際協力原理主義ではない。

国際協力、それが私たちの仕事です。
-ともに喜び、ともに創る-



インテムの業務概要

	現在の主な業務	フィールド活動
計画調査部	機材関係の無償資金協力案件（分野としては、医療、高等教育、職業訓練、水産など多様）	  
自然環境部	養殖振興、漁業資源管理、自然保護区管理などにかかる技術協力案件	  
社会開発部	人材育成、ジェンダーなどにかかる技術協力案件、評価調査、SDGsビジネス支援	  
新ビジネス推進室	PWWのHP作成を通じた新ビジネスの模索	People, Wetland, Wildlife(PWW) https://pwwj.org/

People, Wetland, Wildlife (PWW): 弊社主催のHP

- 健全なインバウンド観光の振興を支援するCSR事業（環境省からの補助金活用）
- 我が国のラムサール条約登録湿地を社員（米国人）が紹介



<https://pwwj.org/>

https://youtu.be/gjVC4X5si_I

[インテムコンサルティング株式会社 \(intemjapan.co.jp\)](http://intemjapan.co.jp)

インテム社員の属性(その1)

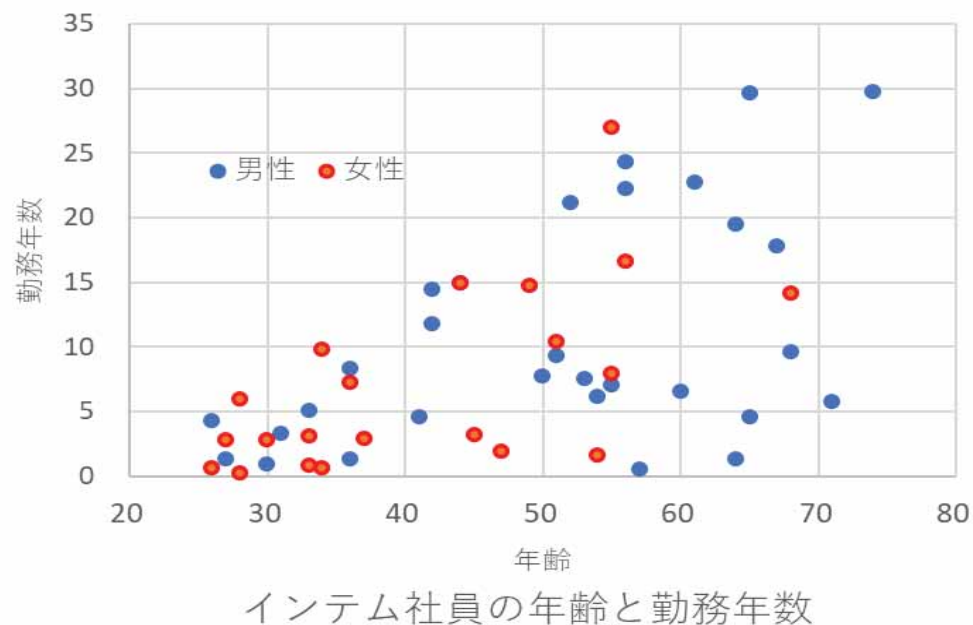
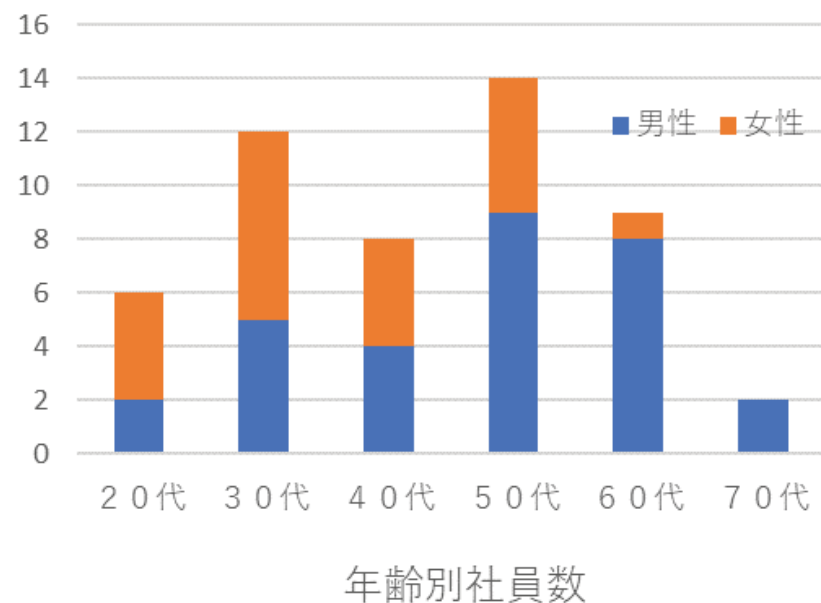
- **性別**は部署によって大きな差がある。社会開発部は女性中心、自然環境部はほとんど男性。
- **高学歴**であり、博士、修士、留学経験者が多い。
- **青年海外協力隊経験者**も多く、自然環境部では66.7%に達している。

2022年8月31日現在

	属性カテゴリー1					合計	属性カテゴリー2 (重複アリ)				比率(%)			
	性別		職種別				博士	修士	留学経験者	協力隊経験者	博士	修士	留学経験者	協力隊経験者
	男	女	技術職	専門職	一般職									
役員	4	0	4	0	0	4	1	1	0	1	25.0	25.0	0.0	25.0
計画調査部	9	4	10	3	0	13	0	6	5	5	0.0	46.2	38.5	38.5
自然環境部	11	1	9	3	0	12	4	6	1	8	33.3	50.0	8.3	66.7
社会開発部	5	10	7	8	0	15	2	11	10	7	13.3	73.3	66.7	46.7
業務部	0	4	0	0	4	4	0	1	1	0	0.0	25.0	25.0	0.0
経理部	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
総務部	1	1	0	1	1	2	0	1	0	0	0.0	50.0	0.0	0.0
合計	30	21	30	15	6	51	7	26	17	21	13.7	51.0	33.3	41.2

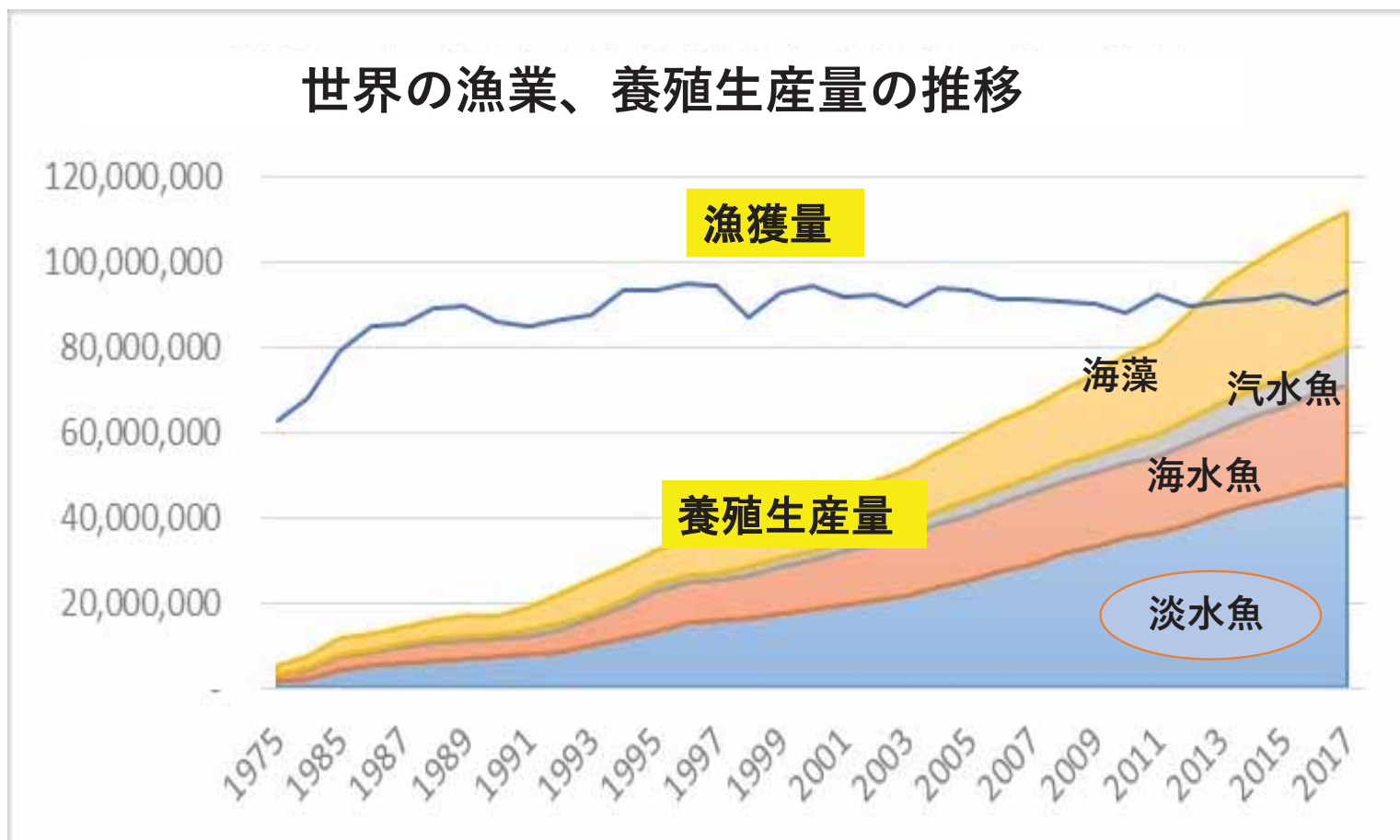
インテム社員の属性 その2

- 年齢別では50代が最も多い。次いで30代、60代、40代となる。開発コンサルタントの中堅として業務をおこなっているのは30代から60代である。
- 20代、30代は女性比率が高い。これは事務職が含まれていることもあるが、若手で開発コンサルタントをめざす女性が増えていることは実感される。
- 年齢と勤務年数は相関性が低い。これは中途採用者が多く、人材の流動性が高いことを示している。



5. プロジェクト例1: アフリカの淡水魚養殖

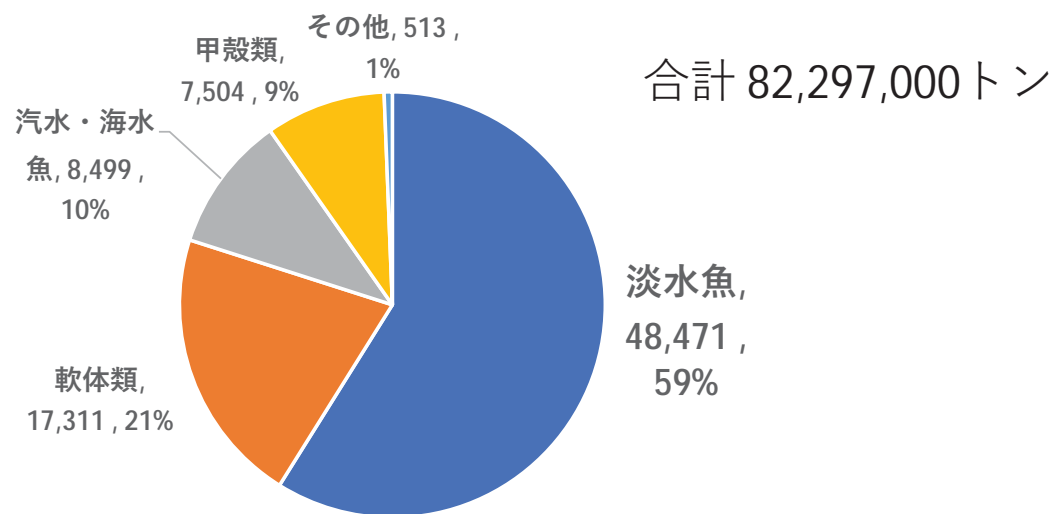
何故淡水養殖
か？
何故アフリカ
か？



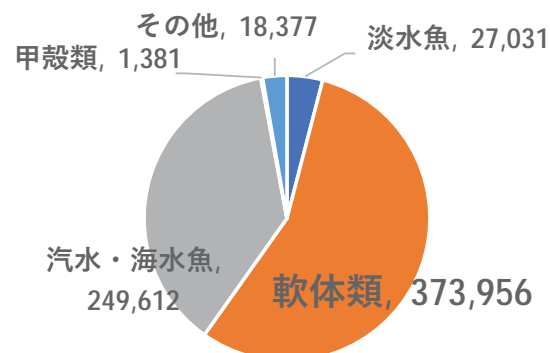
知られざる食料生産のメジャー： 淡水養殖

世界の養殖生産量（2018年）（海藻類を除く）

出典）FAO Fishstat



日本の養殖生産量（2018年）



主な淡水魚	
中国ゴイ	17,825,690
イントゴイ	5,559,486
ティラピア	5,961,483
パンガシウス	2,359,521
主な汽水・海水魚	
大西洋サケ	2,435,948
ミルクフィッシュ	1,327,153
主な軟体類	
カキ	5,171,066
アサリ	4,139,157
ホタテガイ	1,917,993
イガイ	1,205,098
主な甲殻類	
バナメイエビ	4,966,241
ブラックタイガー	750,605

ホタテガイ	214,571
カキ類	158,925
ブリ類	140,868
マダイ	66,965
クロマグロ	13,413
ギンザケ	13,208

世界の主要養殖対象種



■ アフリカの漁業生産量は今のところ増加傾向だが、近い将来頭打ちになるだろう。一方、養殖生産量は、いまだ微々たるもので今後大きく伸びる可能性を秘めている。

On going project

JICAベナン国内水面養殖普及プロジェクト
フェーズ1(2010-2014)、フェーズ2(2017-2022)



対象魚種



ティラピア



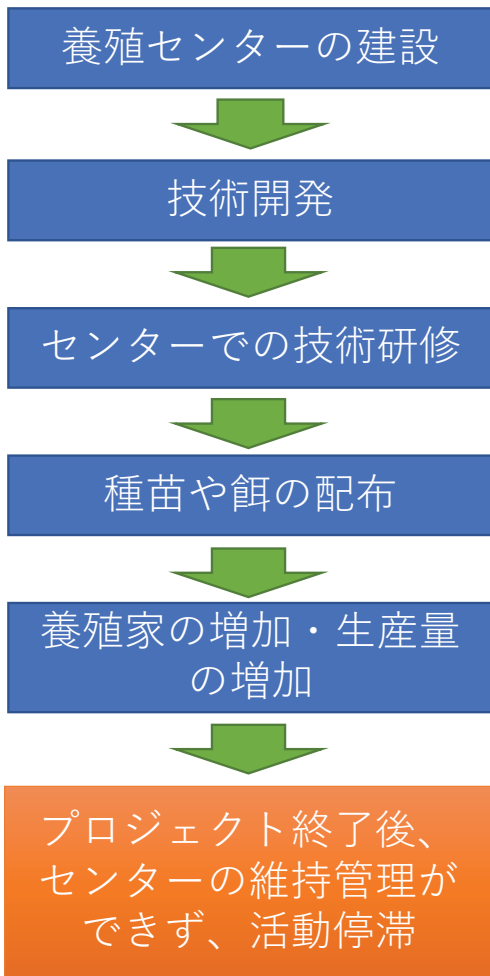
ナマズ



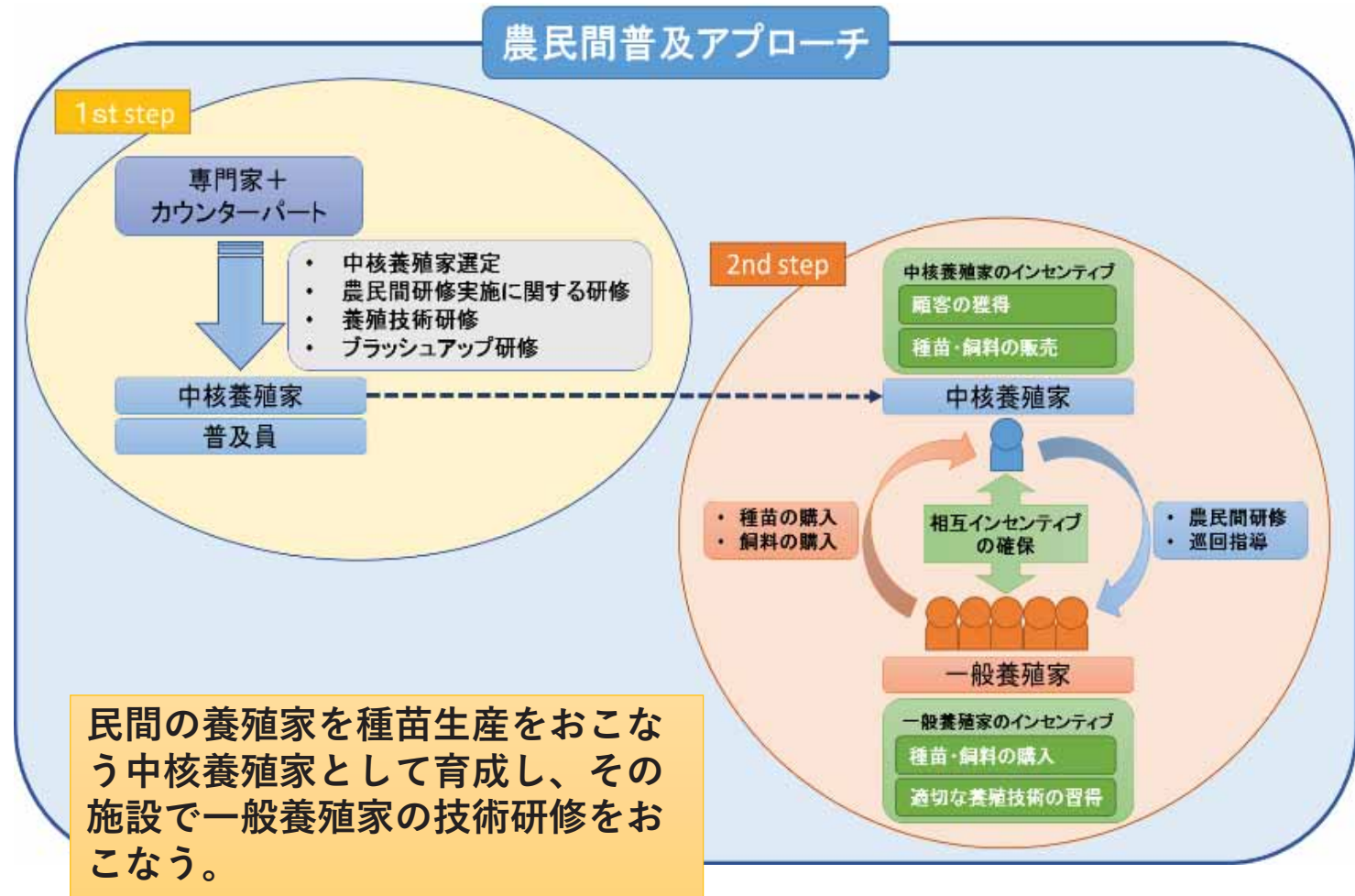
PROVAC2 オープニングセレモニー
(2017年3月30日、コトヌ、ベナン)



従来の普及アプローチ



ベナンで採用した普及アプローチ





中核養殖家研修（講義）



中核養殖家研修（実習）

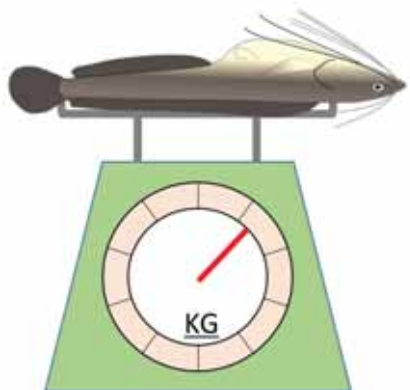


農民間研修（講義）



農民間研修（実習）

技術指導例1： ナマズの産卵誘発→人工授精



Dissection des mâles Extraction des gonades

♂

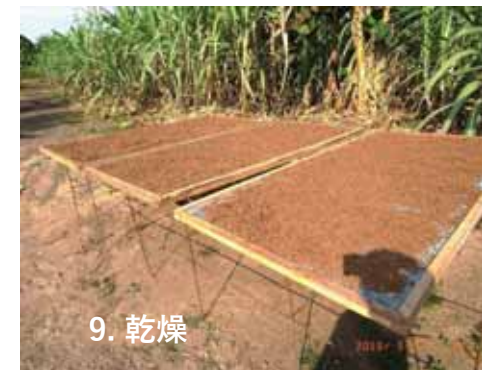
A photograph showing a person's hands performing a dissection on a male fish. The fish is lying on a white surface, and the internal organs are being exposed.A photograph showing two long, pinkish, elongated gonads (testes) lying on a green surface. A small white card with text is visible above them.

Extraction des œufs Collecte des œufs

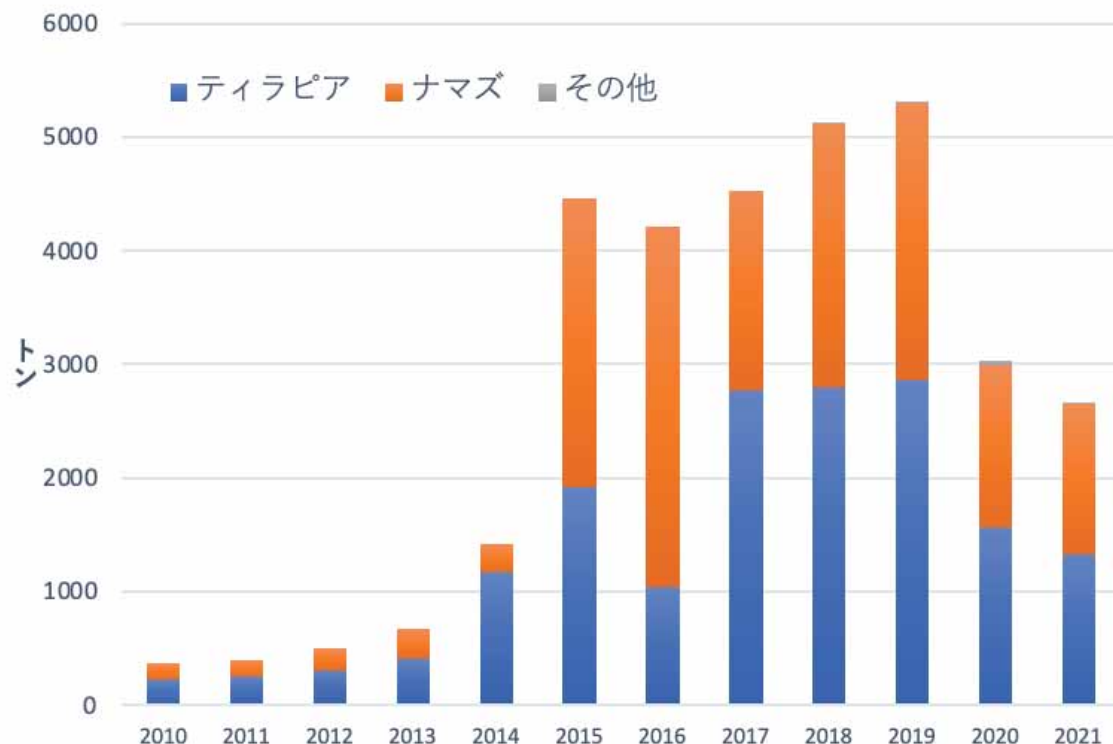
♀

A photograph showing a person's hands using a tool to extract eggs from a female fish. The fish is lying on a white surface, and the eggs are being collected into a white bowl.A photograph showing two white bowls containing dark, oval-shaped eggs. The bowls are placed on a brown surface.

技術指導例2: 自家製配合飼料の製造



ベナンの養殖生産量の推移



養殖活動の発展阻害要因

1. 養殖ナマズの主要販売先であった隣国ナイジェリアの経済危機（2016-17年）

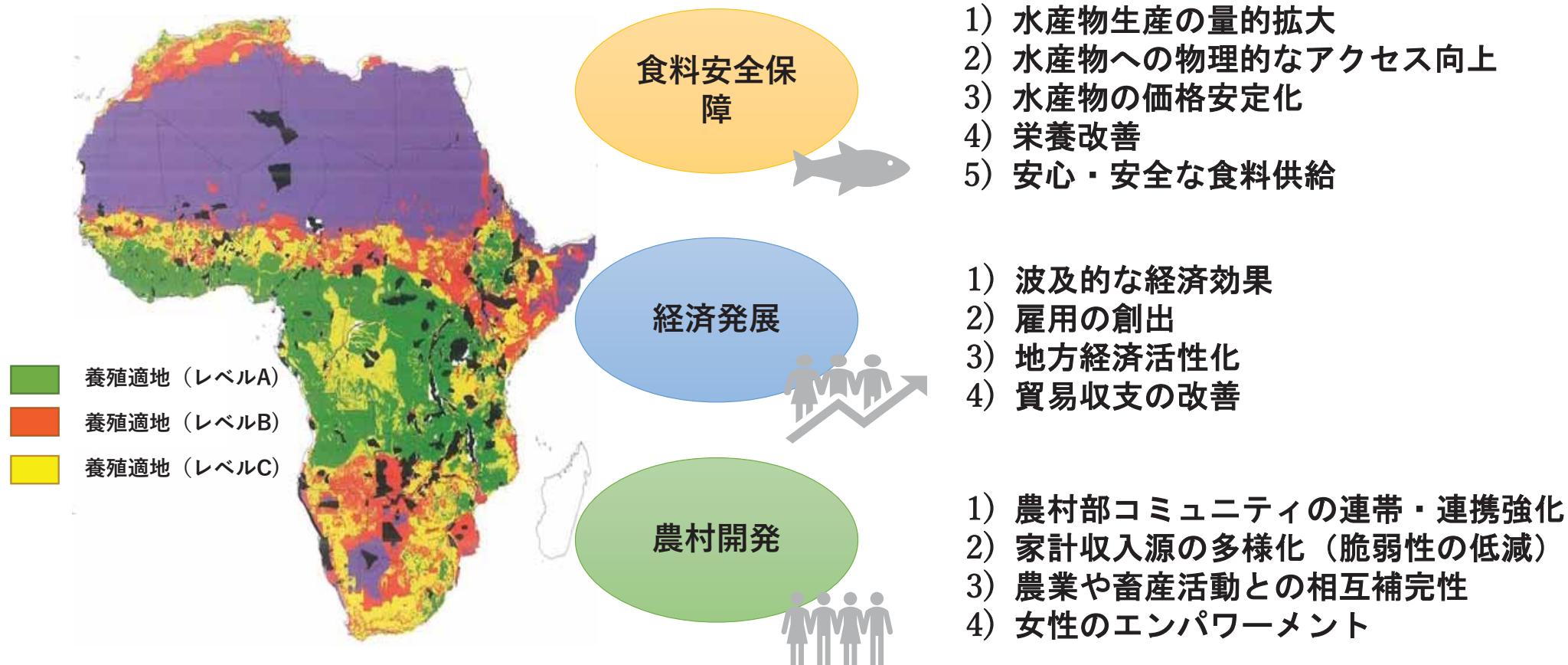
2. コロナによる生産活動の衰退（2020-21年）

政府は輸入餌への補助金の拠出を決めたが、調達が遅れて市中は餌不足、かつ逆に餌代の高騰を招いている。

3. 一旦養殖活動が停滞すると再開するのに経費支出が必要となるという悪循環。

とは言え、養殖普及が進まない西アフリカ諸国の中では、成功例のひとつと考えられ、農民間普及アプローチは近隣のカメルーン、トーゴ、コンゴなどにもノウハウの提供がおこなわれている。

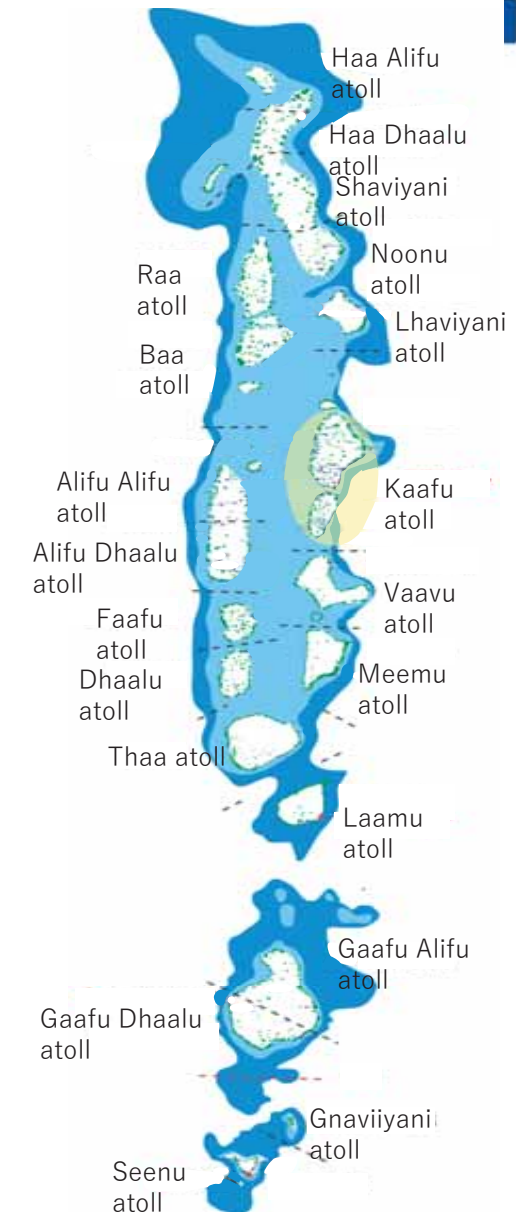
内水面養殖による社会課題への貢献 (= JICAによる内水面養殖への協力の目的)



出所：サブサハラアフリカ内水面養殖協力指針, JICA (作成中)

6. プロジェクト例2: モルディブ水産セク ターマスタープラン

- ◆ 約26の環礁、1200の島々からなる。
- ◆ 世界的なリゾート国だが、イスラム教国であり、リゾートエリア以外は完全禁酒。
- ◆ 漁業は第2の産業。
- ◆ 人口
モルディブ人: 338,000人
外国人 : 64,000人
計 402,000人



モルディブの漁業生産

カツオ・マグロ類で全漁獲量の95%以上



持続的な資源利用と新しい漁業開発の方向性を検討する。



プロジェクトの概要

サブセクター毎にパイロットプロジェクトをおこない、それを踏まえて将来計画を策定する。



【パイロットプロジェクト】

- 漁船操業試験
- リーフ漁業の資源管理
- 養殖試験
- カツオブシやマグロの品質向上



1. 外洋漁業サブセクター



2. リーフ漁業サブセクター



3. 養殖サブセクター



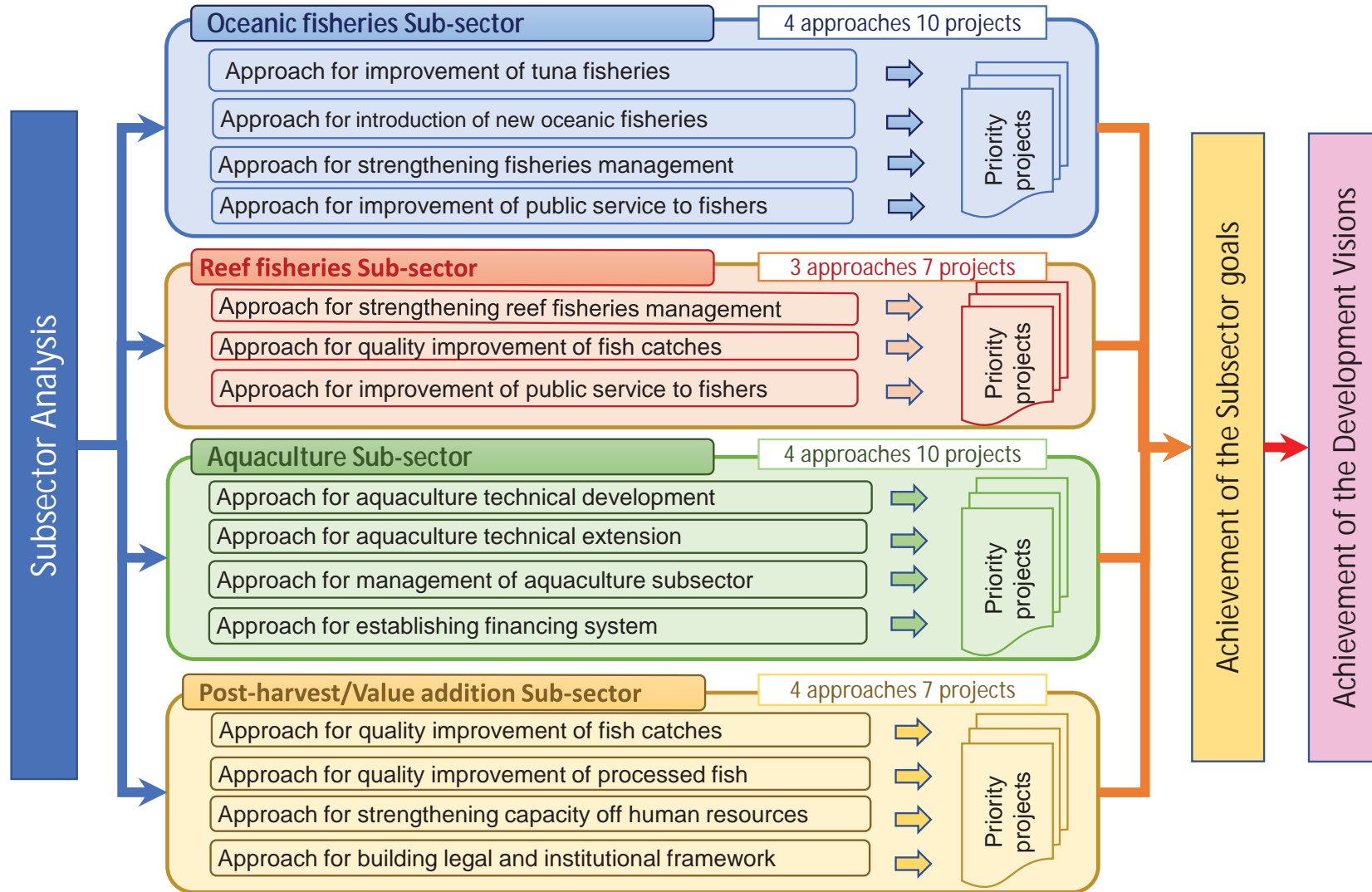
4. 漁獲後処理/付加価値向上サブセクター



コンサルタント配置計画(開始時の計画)

担当業務/氏名	第1年次												第2年次																					
	2014年			2015年									2016年						2017年															
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9
総括/水産開発政策 (土居/インテム)			■		■			■				■				■							■				■							■
副総括/水産物加工/流通 (前川/インテム)		■		■	■	■		■			■		■										■	■			■							■
水産資源管理 (越後/国際水産)		■		■	■	■		■			■		■	■									■	■	■		■							■
社会経済分析/水産情報 (B. オカラハン/個人)		■		■	■	■		■			■		■	■									■	■	■		■							■
漁業技術								■			■			■									■		■									■
養殖								■			■			■									■		■									■
環境社会配慮1/ジェンダー									■														■											■
業務調整/生計向上/環境社会配慮2		■		■	■	■		■			■					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
報告書の提出	△	▲									▲												▲											▲
		Ic/R									P/R 1												P/R 2											DF/R
																																		F/R

Master plan Approaches towards achievements of sub-sector goals



OF2: Extension of improved live bait stocking system in pole-and-line fishery

Target Area: Whole country
 Target group: Pole-and-line fishers
 Project period: 2018 – 2022

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification
Overall Goal Fishing pressure to li decreased.		
Project Purpose Modified live bait tan extended among pole-vessels		
Outputs 1. Results of the p... MASPLAN regar management of li disseminated for owners/investors. 2. Fishers acquire p on live bait handli improved in-boar		
Activities 1-1 Prepare the mate 1-2 Prepare the plan owners are easy t 1-3 Prepare public av 1-4 Carry out awarer 2-1 Prepare on-board 2-2 Carry out the on-		
Personal a. MoFA Fisheries t promotion sector b. MRC researcher(
Equipment and other a. Necessary cost to training. b. Materials for awa		
Environmental Implik		
Special remarks (Imp		
RF 1: Improvement of relevant legislation about reef fisheries Target Area: Whole country Target group: Whole Reef Fisheries Sub-Sector Project period: 2016 – end 2025		
Overall Goal Fisheries Sector has an update complete legal framework for p Resource Management		
Project Purpose A complete set of updated legis reef fisheries is available.		
Outputs 1. The Fisheries Bill is revise legalised. 2. Regulations for Reef Fishe Aquarium Fish, Sea Cucur and Sharks are revised or legalised and implemented		
Activities 1.1 Finalization of the Draft R 1.2 Legalization of the Revise 2.1 Design of Regulations for f 2.2 Review of the Regulations 2.3 Review of the Regulations 2.4 Design of Regulations for S 2.5 Design of Regulations for I 2.6 Review of the Regulations		
Maldives Personnel a. MRC staff b. MoFA staff		
Environmental Implications: (see the Environment and Soci		
Special remarks (Important as 1) Review and design of Regul 2) The Regulations for each ty designed (see Project 4).		
AQ3: Extension of potential mariculture techniques Target Area: Whole country and MTDF Target group: Aquaculture farms Project period: 2018 – 2022		
Overall Goal Number of aquaculture farms is in in Maldives		
Project Purpose Adequate mariculture techniques extended to private sector		
Outputs 1. Seed production techniques of and sea cucumber is refined 2. Economically-sound grow-out techniques of grouper and sea cucumber are available 3. Adequate feed using locally av materials is developed 4. The above technical informati disseminated for private secto		
Activities 1.1 Prepare seed production manu hatchery 1.2 Prepare seed production manu species hatchery as well as ad 2.1 Prepare grow-out culture man 2.2 Prepare grow-out culture man		
Maldives Personnel a. MRC researcher(s) b. Technicians who carry out fee MTDF Equipment and others a. Print out the manuals Environmental Implications: Special remarks (Important assur Technical assistance of donor is ex		
PV3: Extension of Improved on-board handling techniques for tuna hand-line fishery Target Area: Whole country Target group: Tuna hand-line fishers, Government officials and industrial person Project period: 5 years from April, 2018		
Overall Goal Fishers retain more profit from fishing.		
Project Purpose Fish grade caught by fishers is improved.		
Outputs 1. Training course for improving capacity of Government officials and technical person from the industry is conducted. 2. Awareness program on proper fish handling on board is conducted. 3. Training course for fishers on technical improvement is conducted. 4. Evaluation and monitoring system for the training implementation is made.		
Objectively Verifiable Indicators • Income of fishers • Ratio of grade C and rejected in the total catch per fishing boat • Program /curriculum • Implementation plan of MoFA with budgetary allocation • Number of the participants • Contents of awareness program • Implementation plan of MoFA with budgetary allocation • Number of the awareness program • Program /curriculum • Implementation plan of MoFA with budgetary allocation • Number of the participants who acquired the certificate • Evaluation items for the each training course • Level of attainment of the participants • Program /curriculum improved for the succeeding year based on the results of evaluation		
Means of Verification • Impact survey • Project document • MoFA document • MoFA document • MoFA document • MoFA document		
Activities 1.1 A plan for implementation of the training is prepared. 1.2 Training program and curriculum are prepared. 1.3 Lecturers are appointed. 1.4 Teaching materials are prepared. 1.5 The training course is implemented. 1.6 Evaluation is conducted. 2.1 A plan for implementation of the awareness program is prepared. 2.2 Awareness materials are prepared. 2.3 The awareness program is implemented. 3.1 A plan for implementation of the training is prepared.		

Project summary - Description of 34 priority projects-

- Overall Goal (上位目標)
- Project purpose (プロジェクト目標)
- Outputs (成果)
- Activities (活動)
- Indicators (指標)

プロジェクトのインパクト

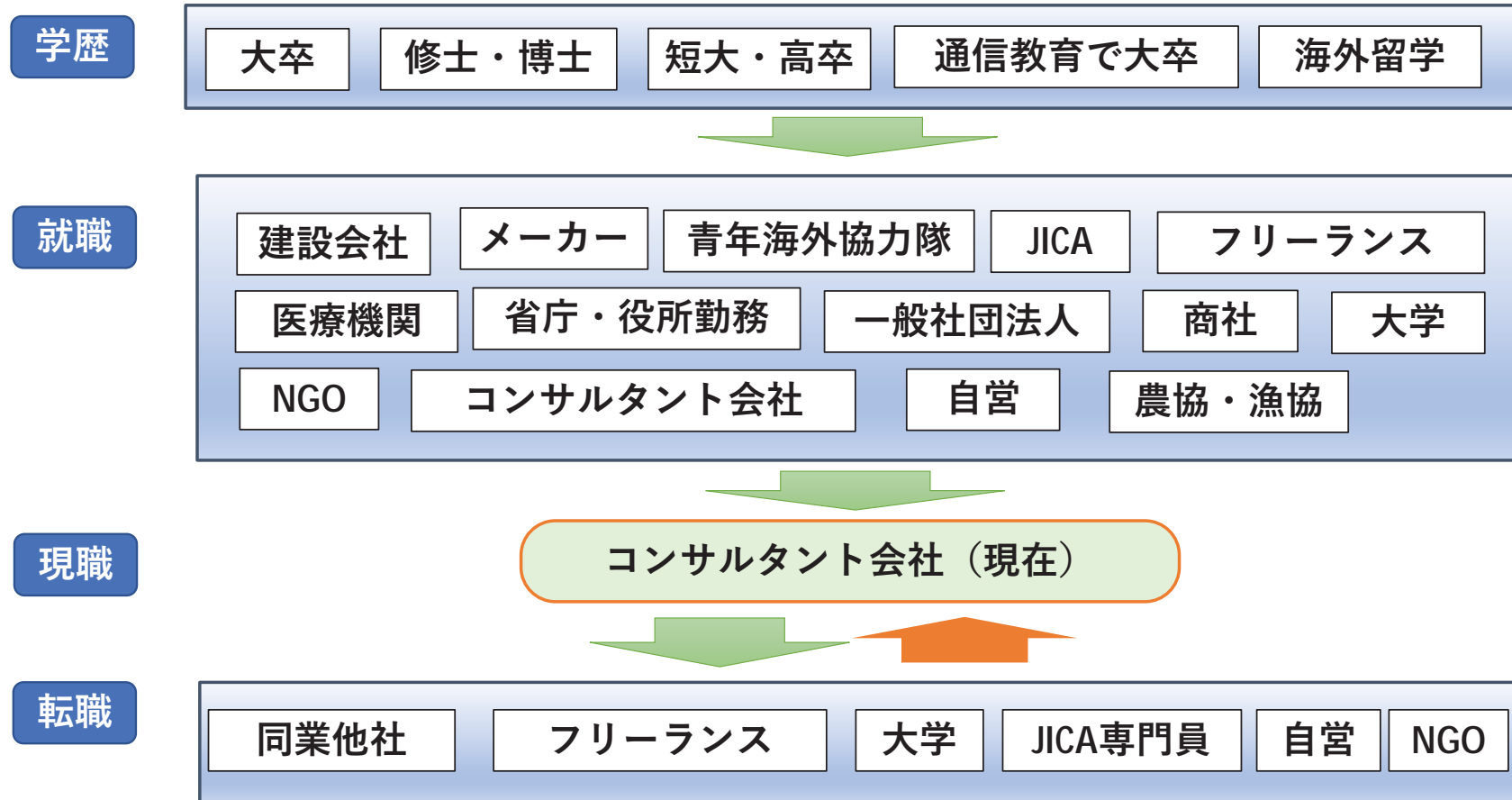
- 1) マスタープランがモルディブ政府で正式に承認され、提案したプロジェクトのいくつかは実施段階にある。
- 2) パイロットプロジェクトで初めて実証したソデイカ漁業は現地で普及しつつある。
- 3) マスタープランにもとづいて、我が国に対して新たな技術協力プロジェクトが要請されている。



出所：JICA広報部

7. 開発コンサルタントになるには、、、

- 特に、資格とかないのでやる気があって努力すれば出来る職業である。
- ただし、新卒を採用しているのはハード系のコンサルタント企業に限られ、しかも、まずは国内業務要員となる。ソフト系のコンサルタント企業はほとんどが中途採用である。



具体的な就業支援情報サイト

1) ECFA (海外コンサルタンツ協会) の就職支援情報配信

ECFAや会員企業による開発コンサルタントを理解いただくための情報（各種イベント、求人情報等）をメールでお知らせするサービスを行っています（不定期）。登録は無料です。



ECFAチャンネル



2) JICAの国際キャリア総合情報サイト



全個人登録数 (2020年9月時点)	全登録団体数 (2020年9月時点)	2020年度掲載 求人・インターン数 (4月～9月)	2020年度掲載 研修・イベント数 (4月～9月)
49,298人	2,010団体	1,133件	605件

8. まとめ

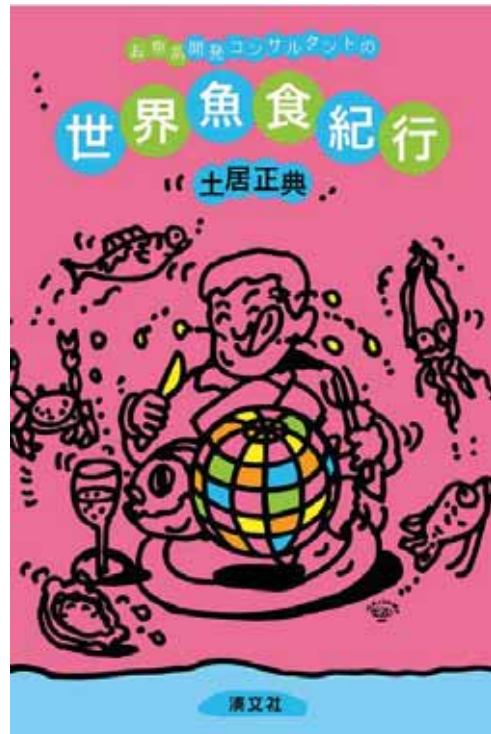
これからの国際協力事業と開発コンサルタント

途上国のプロジェクトの現場は、本音と建前が思いっきり交錯する場であり「大人の事情=政治的背景」も数多く存在する。正論を押し通して乗り切れればよい、と言う単純な世界ではない。ではどう考えるか。

私は国際協力の目的を「**プロジャパン(親日本)の国や人々を作ること**」「日本のやり方や考え方を正しく理解してくれる国と人を増やしていくこと」と明確にしてはどうか、と考えています。

このような共通理解のうえで、我々開発コンサルタントはその技術力、問題解決力を武器にしっかり途上国の発展に貢献する。結果は報酬であると同時に、プロジャパンとして返ってくると信じている。

(「私はお魚系開発コンサルタント」P.174-175)



ご清聴ありがとうございました。



世界魚食事情で検索！！

東南アジア、西アジア、地中海、中南米、アフリカ、そして日本。
世界の魚食事情を紹介したうんちく本として、他の追随を許さない一冊！

